

2021年12月8日

<SDGs 関連>再生可能エネルギー由来の電気の販売開始他について

サンリン株式会社

サンリン株式会社（本社：長野県東筑摩郡山形村、代表取締役社長：塩原規男）は、SDGs への取組の一環として、穂高広域施設組合が運営する穂高クリーンセンターで発電される再生可能エネルギー由来の低圧電力を卸電力会社経由で調達し、非化石証書(※1)を付加した上で CO2 排出係数ゼロの再エネ電気を「サンリンでんき」の新プランとして「穂高グリーンプラン」の名称で長野県内を対象に販売を開始いたしますのでお知らせいたします。（主に CO2 排出量の削減を重視されているお客様等への販売を見込んでおります。）

※1 非化石証書とは、再生可能エネルギーなど「CO2 を排出しない」という価値を可視化した証書です。

「高圧電力」につきましても、大手卸電力会社であるミツウロコグリーンエネルギー株式会社（本社：東京都）が販売する再エネ電力を調達（取次）し、低圧電力同様、CO2 排出量の削減や SDGs など環境に優しい取組に貢献したい自治体・企業等への販売を開始いたします。

合わせて、弊社の使用電力につきましても、全事業所（35 事業所）の「低圧電力」「高圧電力」を上記の再エネ電力に全て切替し、CO2 排出量削減を図ってまいります。これによる弊社 CO2 排出量の削減は年間約 1,100 t であり、年間 CO2 排出量の 35%程度を削減できる見込みとなります。

また、都道府県・市町村で取扱をしている J クレジット(※2)を長野県及び富山県富山市より合計 100 t（長野県小海県有林 J クレジット 40 t、富山市 J クレジット 60 t）購入しました。これにより、弊社で排出する CO2 の一部をカーボン・オフセットによって削減するとともに植林や間伐などの森林整備に投資をすることで環境活動に貢献してまいります。

※2 J クレジットとは、カーボン・オフセットに用いる温室効果ガスの排出削減量・吸収量を信頼性のあるものとするため、国内の排出削減活動や森林整備によって生じた排出削減量や吸収量をオフセット・クレジットとして環境省が認証・発行する制度です。

<本件に関する照会先>

・再エネ電力関係	サンリン株式会社電気事業部	高相、佐藤	0263-97-3034
・Jクレジット、SDGs 全般	同 管理本部	小原、氣賀澤	0263-97-3030